

令和5年第3回定例会 賛成討論原稿

2023年9月20日

みらい  
櫻井雅美

議長のお許しをいただきましたので、会派みらいを代表して、認定第1号 令和4年度武豊町一般会計歳入歳出決算認定について賛成の立場で討論を行います。

令和4年度一般会計歳入総額は147億7678万7千円、歳出総額は142億1902万5千円となり、歳入歳出差引額は5億5776万2千円の黒字、また、翌年度へ繰り越すべき財源1億2315万5千円を差し引いた実質収支額は4億3460万7千円となりました。

歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和3年度に比べ、国庫補助金は臨時特別給付金給付事業費の減により20億3966万4千円と、前年度比32%減となったため、総額は減少しました。

町税では、収入額が81億7879万円となり、収入全体の55%と、町民税は減少したものの、固定資産税、都市計画税が増加したため全体として増加しました。

収納率は昨年度と同じ98.4%と高い徴収率となっていますが、今後とも公正を期すため、不納欠損、収入未済額のさらなる削減をし、より調定額に近づけるよう一層の努力を期待します。

歳出について、総務費では、ゼロカーボンシティの取り組みとして、本町初の電気自動車を購入しました。他に「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」の策定、コンビニ交付システム導入、また、自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助制度は、7～18歳と65歳以上から全年齢に拡大し、高齢者後付け安全運転支援装置設置費補助制度とともに交通事故防止、被害軽減対策を行いました。さらに、4月より町民レポーターを中心とした公式Instagram「たけとよ日和」を開設、11月には利用者の利便性を高めるためにホームページのリニューアルを行いました。

次に、民生費では、第3次武豊町地域福祉計画の策定、重層的支援体制整備事業は令和5年本格実施に向けて移行準備を行いました。また、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金として、1世帯当たり10万円の支給、県事業と共に町独自の政策として子育て世帯応援臨時給付金として児童一人につき1万円の支給、保育園整備事業として東大高保育園・あおぞら園の新築工事実施計画設計、保育支援システム導入に向け、無線LAN設置等の環境整備など、子育て支援体制の充実が図られました。

次に、衛生費では、新型コロナウイルス感染症関連として昨年度に引き続きワクチンの接種事業、住民の健康増進として健康たけとよ 21 スマイルプランの充実、ほかに妊娠期の支援として妊娠8か月サポートコール事業の継続、新規事業として妊産婦タクシー料金助成など妊産婦への支援の充実が図られました。また、公共施設再生可能エネルギー導入可能性調査、住宅用地球温暖化対策設備設置・次世代自動車購入費補助などゼロカーボン事業の充実を図りました。さらに、4月からの知多南部広域環境センター供用開始に伴い大足区の大気環境が測定され、令和 4 年 2 月に設置された、いちほら資源回収エコステーションが有効活用されました。

次に、農林水産業費では、農業振興地域整備計画が更新され、農地流動化促進事業により遊休農地の解消と担い手農家の育成を行いました。

次に、商工費では、新型コロナウイルス感染症対策応援事業として、1人当たり 5000 円分の地域振興券が配布されました。また、商店街事業を始めとする各種補助制度により商工業振興に寄与しました。

次に、土木費では、武豊中央公園は多くの町民が利用できる公園としてトイレや防災倉庫の整備、また、散策路整備計画策定に向けた業務委託、町営住宅長寿命化整備事業を行いました。

次に、消防費では、防災ガイドブックの全面改訂、災害時における「大規模災害時における、労働・社会保険等の相談に関する協定」を愛知県社会保険労務士会と締結しました。また、第一南分団詰所新築工事設計委託を行いました。

次に、教育費では、小中学校においては「いじめ・不登校対策」についてさらに充実が図られました。GIGA スクール構想は児童生徒にタブレットが一人 1 台支給され有効に活用されていました。教職員は他の自治体に比べても充実した加配がされており、今後もさらなる充実を期待したい。

また、有形民俗文化財として三井家住宅の修理補助、公民館では LAN ケーブル設置により、WEB の利便性の向上が図られました。町民会館では、ホール天井の補修改修工事による安心な施設整備を行われています。また、学校給食配送車の 1 台を電気トラックに更新し、さらなるゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを実施しました。屋内温水プール管理運営事業については、健全運営のために 4 年のモニタリング調査業務委託を行いました。総合体育館ではスポーツ協会創立 60 周年を記念して町民体育大会を開催しました。

絆予算では、区助成を増額した地域活動推進交付金、子ども会育成連絡協議会、地域振興券交付事業、産業まつり補助金、60周年を迎えた文化協会・スポーツ協会事業への補助金、たけとよスポーツDayの事業拡大など、様々な場所で有効に利用され、コロナ禍で希薄になった人間関係が加速的に取り戻されているのを感じました。

また、予算大綱で説明される本町の主要な事業についての執行、さらには補助金・交付金制度の費目の決定・執行においては、提出された計画書並びに実績報告書を十分に精査・確認することで、目的の達成に向けてさらなる経済的な執行に努めていただきたいと思います。

最後に、令和4年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策により、様々な臨機応変な対応が求められる中、緊急性のある事業並びに各種イベントの執行について、職員一丸となって携わっていただいたことに、心から感謝と敬意を表します。

以上、町民の要望に応えるため、各事業に対して丁寧で細やかな執行がされていることから、会派みらいとしては本決算認定については認定することに至りましたので、各議員におかれましても認定賜りますようお願いいたします。

これをもって、認定第1号 令和4年度武豊町一般会計歳入歳出決算認定についての賛成討論とします。